

社会との共創価値(CSV)の取り組み

CSVに関する基本的な考え方

当社グループは、「共創価値(CSV)」を経営の根幹とし、社会と事業それぞれの重要度を鑑みながら「人々の健康への貢献」「環境先進企業への進化」「コミュニティとの連携強化」の3つを優先課題と位置づけ、取り組みを推進しています。

人々の健康に
貢献する

環境先進企業へと
進化する

コミュニティとの
連携を強化する

SDGsの実現への貢献

2015年9月、ニューヨーク国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において、150を超える加盟国代表の参加のもと、その成果文書として「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。このアジェンダの中心は17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」です。

SDGsに向き合うことはCSVの実現を目指す私たちにとって不可欠であるとの認識のもと、SDGsを新たな指標と捉え、SDGsの実現に貢献していきます。



CSVを実現するための最優先課題

人々の健康に 貢献する

- 取り組み例
- 品質管理の徹底
 - 多様な製品の提供でお客さまの健康を支援
 - 水分補給セミナーの開催
 - 食の貧困問題解消に向けた取り組み 等

健康に関する基本原則

私たちは、日々の暮らしに寄り添う企業として、常に健康を第一に考え、幅広い世代のニーズと嗜好に合った価値ある商品・サービスを提供します。加えて、正しい飲食習慣の啓発やスポーツに親しむ機会等を通じて、人びとの健康の維持増進に努め、活動的かつ健康的なライフスタイルを提唱していきます。



環境先進企業へと 進化する

- 取り組み例
- 水資源保護活動の実施
 - 地球温暖化ガス排出量の削減
 - リサイクルの推進
 - 環境に優しい容器の採用 等

環境に関する基本原則

私たちは、事業活動に欠かせない水を含めた自然資源を有効活用し、地球環境を持続可能な形で次の世代へ引き継いでいくことを重要な使命と捉えています。そのために、環境負荷の低減と事業の成長を両立するイノベーションにより地球環境の保全を進め、地域社会における自然環境の保護と環境啓発を通じて、地域社会との共創価値(CSV)を実現します。



コミュニティとの 連携を強化する

- 取り組み例
- コカ・コーラレッドスパークス スポーツクリニック
 - ファミリーミュージカル
 - サマースクール
 - 環境美化活動 等

コミュニティに関する基本原則

私たちは、長年にわたり育んできた地域社会とのつながりを今後も深め、持続可能な未来に向けて社会とともに発展します。みなさまに愛される企業として、これからも地域の活性化とともに、社会や地域のかかえる課題と向き合い、地域社会と当社グループとの共創価値(CSV)を実現します。



人々の健康に貢献する

■品質管理の取り組み

コカ・コーラシステムがグローバルで展開している独自のマネジメントシステム「KORE (Coca-Cola Operating Requirements)」のもと、厳格な品質管理を行っています。「KORE」は原材料の調達から製造、物流・輸送、販売を経てお客さまに製品が届くまでの各過程において「品質」「食品安全」「環境」および「労働安全衛生」に関する基準を網羅したシステム*で、国際規格であるISOをはじめとする各種法令の要求事項を満たし、さらに厳しい基準を課す内容となっています。お客さまがいつでも安心して当社製品をお飲みいただけるよう、安全・安心への取り組みを徹底しています。

*「品質」はISO9001、「食品安全」はFSSC22000、「環境」はISO14001、「労働安全衛生」はOHSAS18001に準拠しています。



■特定保健用食品・機能性表示食品の発売

お客さまのさまざまなライフシーンに寄り添う企業として、時代のニーズに合った豊富なラインナップでおいしい飲料とともにさわやかなひとときをお届けしています。2017年は、お客さまの健康志向の高まりを受け、特定保健用食品、機能性表示食品のラインナップを拡充しました。心と体をうるおしながら、健康増進にも役立つ製品を提供することで、お客さまの生活をサポートしています。



■水分補給セミナーの開催

日常生活やスポーツなどさまざまなシーンにおける正しい水分補給について知っていただくために、学校や各種団体・企業のみなさまを対象とした水分補給セミナーを開催しています。2017年は、33回の水分補給セミナーを実施し、約5,000名にご参加いただきました。セミナーを受講した方からは「規則正しい生活が大切なことをあらためて認識しました」「ミネラルの大切さが学べた」「水分補給のタイミングが分かった」などの声をいただいています。



■フードバンクを通じた製品寄贈

フードバンクとは、食べることができるにもかかわらず処分されてしまう食品を、食べ物に困っている人々に届ける団体や活動のことです。セカンドハーベスト・ジャパンや全国フードバンク推進協議会などのフードバンクとパートナーシップを結び、飲料（製品）を寄贈する取り組みを進めており、2017年は、約2万6千ケースの飲料を寄贈しました。当社が寄贈する飲料は、各団体を通じて社会福祉施設などに提供されます。



環境先進企業へと進化する

■水資源保護活動の推進

かけがえない「水」を利用してビジネスを行う企業として、製品に使用した量と同等の水を自然界に還元する取り組みを推進しています。製造過程における水使用量の削減 (Reduce リデュース)、製造過程で使用する水の再利用 (Recycle リサイクル)、地域の水資源保護 (Replenish リプレニッシュ) を軸とした活動を展開しており、2016年より実質的な水使用量ゼロを実現しています。

●水資源保護活動

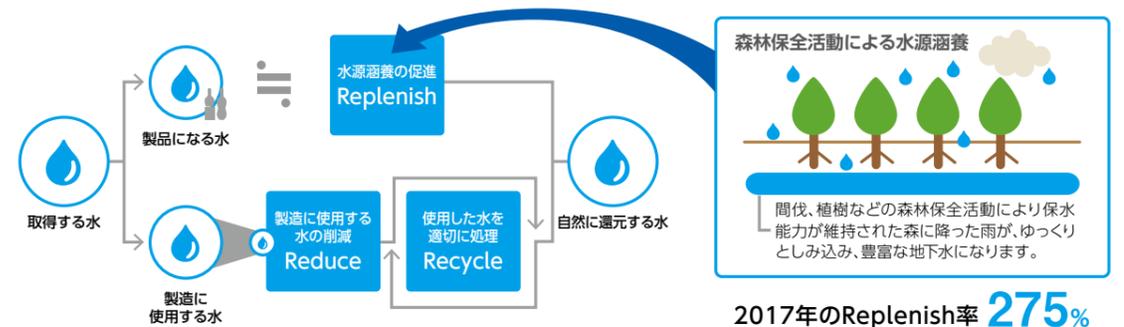
地域行政や森林組合などと協定を結び、当社グループが保有する工場の水源域において、水資源保護活動を行っています。2017年は、当社エリア内13の地域で水資源保護活動を実施しました。宮崎県えびの市では、契約林「コカ・コーラ ボトラーズジャパン 水源の森 えびの」において、社員とその家族、地域住民の方々約100名に参加いただき、下草刈りや枝打ち、除伐を通じて水資源保護の重要性について理解を深めていただきました。



下草刈りの様子

森林保全活動を中心に、草原の保全・再生、涵養能力が高い水田の湛水などにも取り組んでおり、水源涵養面積は現在、約6,583haとなっています。

コカ・コーラシステムが考える水の循環



■気候変動緩和に向けて

調達・製造・物流・販売までを網羅した事業全体での気候変動緩和への貢献を目指し、地球温暖化ガス排出量の削減に取り組んでいます。

販売面では、自動販売機などの販売機器の消費電力量削減やCO₂排出量削減に向け、環境負荷低減機材の開発・導入を進めています。2013年から展開している「ピークシフト自販機」は、日中に冷却用の電力を使わず夜間にシフトすることで、日中の消費電力を最大95%削減可能な省エネ仕様の自動販売機です。また、2020年までに市場に導入されたすべての自動販売機をノンフロン化する計画を進めています。



ピークシフト自販機

■循環型社会に向けて

製造に伴い発生する廃棄物の削減や綿密な在庫コントロールによる製品廃棄ロスの削減、空容器リサイクル率の向上、環境に優しい容器の採用などに取り組んでいます。

環境に優しい容器の採用としては、「環境にやさしく、使いやすく」という考えのもと、「サステナブル・パッケージ (持続可能な容器)」という世界のコカ・コーラシステム共通のコンセプトで容器の開発、導入を進めています。飲んだあとにしぼりやすい「ecoるボトル しぼる」や、つぶしやすさと注ぎやすさを両立させた大型PETボトル「ペコらくボトル」などを導入し、環境負荷低減と省エネの両立を図っています。また、2020年までにすべてのコカ・コーラ社製品に植物由来の原料を使用したPETボトル、またはリサイクルPET樹脂を使用したPETボトルを採用することを目指しています。



ecoるボトル しぼる

ペコらくボトル

コミュニティとの連携を強化する

■コカ・コーラレッドスパークスによるスポーツクリニック

カンパニースポーツとして男子ラグビー部と女子ホッケー部(ともにコカ・コーラレッドスパークス)を保有しており、それぞれ国内最高峰のリーグに参戦しています。地域のみなさまに活動的で健康的な生活を提案するとともに、子どもたちの心身の健全な育成に貢献すべく、レッドスパークスによるスポーツクリニックを開催しています。2017年は8回開催し、参加者と交流を図りました。



ホッケークリニック(山口県)

ラグビークリニック(愛媛県)

参加者数
957名

■ファミリーミュージカル

次世代を担う青少年の健全な育成を目指し、小中学校の夏休み期間中に「ファミリーミュージカル」を開催しています。2017年は当社エリア内3か所において、「じいじのふしぎなレストラン」を上演しました。社会課題となっている「食の貧困・孤食」をテーマに掲げたオリジナル演目で、お子さまだけでなく保護者のみなさまにも興味深く鑑賞いただきました。



来場者数
4,763名

©日高 仁

■サマースクール

夏休み期間中、地域の子どもたちとその保護者を対象にコカ・コーラ社製品の製造工程における取り組みや、水を育む森の大切さを学べる「サマースクール」を開催しています。豊かな自然環境の中でさまざまなアクティビティを行う体験型学習も取り入れており、2017年は当社グループの4工場で開催しました。



参加者数
1,786名

■環境美化活動

地球環境保全を重要課題のひとつと認識し、エリア内各地において環境美化活動を実施しており、2017年は当社エリア内17の地域で環境美化活動に取り組みました。世界一美しいまち・京都を目指して行われる「京都・まち美化大作戦」では、社員約50名が参加し、地域と一体となった環境美化活動に取り組みました。



活動地域
17

■「市村自然塾 九州」の活動支援

市村自然塾 九州は、「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念とした子どもたちの健全育成、成長を支援する特定非営利活動法人(NPO法人)で、農業体験活動、自然体験活動、共同生活の3つを柱に、子どもたちの規律、自主性、創造性などの資質を育む場を提供しています。小学4年生から中学2年生までの塾生たちは、8か月にわたって佐賀県鳥栖市の豊かな自然の中で週末を仲間たちと過ごし、農作業を中心としたさまざまな活動を体験します。



卒業生
863名

企業価値向上に向けた人材マネジメント

当社グループの企業理念「THE ROUTE(ザ・ルート)」では、会社としてたいせつにする価値観として、人権を尊び、規範を重んじ、法令を遵守するとともに、常に高い倫理観を持ち続ける「品格」と、社員一人ひとりの人権や個性を尊重し、能力を発揮できる環境を整え、さまざまな価値観やアイデアを積極的に取り入れる「ダイバーシティ(多様性/多面性)」を掲げています。これらの価値観に基づき、企業価値の向上に向け、あらゆる人材が最大限に能力を発揮できる環境づくりを目指し、さまざまな取り組みを推進しています。

》》ダイバーシティの推進

主な
取組み
事例

- 人権尊重
- 女性活躍推進
- 障がい者雇用・活躍推進

当社グループは多様性を認め建設的な議論を行いながらダイバーシティを推進することで、品格を備えたエクセレントカンパニーとなることを目指しています。2020年までの取り組み方針としては、人権尊重を基盤とし、女性社員および障がい者の活躍を活動の柱としています。



人権研修

ダイバーシティ推進の基盤である人権啓発活動としては、人権尊重について正しい知識を身につけ人権感覚を高めるための研修やeラーニングを実施しており、特に管理職向けにはハラスメント撲滅をテーマとした啓発活動を強化しています。

女性活躍においては、女性があらゆる場面で活躍することを目標とし、女性社員比率および女性管理職・女性リーダー職の比率を高める取り組みを実施しています。具体的には、女性に特化した育成プログラムを実施するとともに、ライフイベントを迎えてもキャリア形成が継続できるための制度・しくみを導入しています。さらに、本部ごとのダイバーシティ推進プロジェクトによる積極的な推進活動や、全グループの女性社員が交流し相互研鑽するイベントを通して、良い影響力のある女性リーダーを目指す動機付けも行っています。



国際女性デーイベント

障がい者の活躍については、障がい者雇用課を設置し、グループ全体の障がい者雇用推進体制の確立を進め、法定雇用率の遵守をはじめ、障がい者雇用専任担当者による職場への定着支援活動を実施するなど、障がいの有無に関わらず社員がいきいきと働ける機会と環境づくりに向け活動しています。

さらに、あらゆる人材が最大限に能力を発揮できる環境づくりに向け、在宅勤務・サテライトオフィスの実現に向けた取り組みも進めています。

》》キャリア支援

主な
取組み
事例

- キャリアプラン、能力開発プラン
- キャリアステージ別育成プログラム
- グローバル研修プログラム

毎年、各所属長はメンバーとキャリアプランおよびその実現に向けた能力開発プランについて面談を実施し、メンバーの育成、成長のサポートを行っています。

社員の成長とキャリア実現を支援する能力開発プランとしては、職場での「OJT」、「集合研修」、社員自らの学びをサポートする「自己啓発プログラム」の3つを中心に実施しています。集合研修としては、当社グループの求める人材像を目指した社員育成プログラムをキャリアステージ別に提供しています。具体的には組織運営、人材育成能力向上のための所属長向け研修、コカ・コーラシステム独自のグローバルリーダーシップ研修、コカ・コーラ発祥の地アトランタや海外のコカ・コーラボトラーを訪問する海外研修、次期リーダーを目指すための公募型研修等を実施しています。



グローバル研修プログラム